

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 014	提案機関名 自然環境保全センター
要望問題名 中高標高域におけるニホンジカの行動圏解析研究	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 丹沢山地では、平成15年度からのニホンジカ保護管理計画に基づく自然植生回復のための管理捕獲の継続的な実施に加え、平成19年度から水源環境保全・再生施策により水源林整備が大幅に進捗しているため、シカの行動圏が変化してきていると推察される。 また、平成24年度からは、水源林整備箇所及びその周辺での管理捕獲や高標高域山稜部における管理捕獲が予定されていることから、今後さらにシカの行動が大きく変化する可能性がある。 ニホンジカの保護管理事業を効果的に実行していくためには、こうしたシカの行動圏変化を的確に把握して、これに対応した生息環境管理と個体数管理を実行していく必要がある。 このため、シカの管理捕獲や水源林整備、植生保護柵設置等の事業及び各種モニタリングと連携したシカの行動圏解析研究の実施を要望する。	
解決希望年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
対応区分	実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 (、 、 の場合) シカ森林管理の一体的推進手法の開発、ブナ林におけるシカ管理手法開発			
対応の内容等 平成19年度から平成23年度までに寄水源林内でシカを8頭捕獲してGPS首輪を装着して行動圏を解析してきました。その目的は、施業実施地や餌植物の多い植生への執着の可能性を検討することにあります。現段階で明瞭な結果は得られていませんが、平成24年度からの第2期水源環境保全・再生施策ではシカと森林の一体的管理の課題のなかでシカの行動圏解析を拡充していきます。また野生生物課と連携すること、及び宮ヶ瀬湖畔等他の場所での事例を増やすことでご要望の課題に対応していきます。			
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			